

マーケットの動き（2023年1月30日～2月3日）

先週の米国株式市場は、前週末比でS&P500種株価指数は上昇した一方、NYダウはほぼ横ばいとなりました。

FOMC（米国連邦公開市場委員会）を通過後に米国の利上げ停止期待が高まり、米国株式は主にハイテク株が買われる展開となりました。一方、3日発表の1月の米国雇用統計で労働需給の引き締まりが示されたことから早期の利上げ停止期待が後退し、米国株式は主にディフェンシブ株が売られて週を終えました。

欧州株式市場は、おおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し（2023年2月）

外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開

企業業績については、足元の軟調な企業景況感や個人消費の失速、これまでの大幅利上げによる景気悪化懸念などから、業績見通しの引き下げリスクは継続すると考えています。こうした環境下で、米国ではインフレ圧力の緩和に伴う利上げ停止観測が支援材料とみられ好材料の織り込みが進む一方、これまでの金融引き締めの影響から、今後は企業業績の悪化が顕著になるとみられ、上値は重いとみられています。欧州でも、消費者心理や景況感に改善の兆しがみられる一方、コア・インフレの加速によるECB（欧州中央銀行）の利上げ継続観測に加えて、実質所得の悪化を受けて個人消費が落ち込む可能性もあり、米国市場と同様に上値の重い展開を予想しています。

	2月3日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,136.48	1.62%	8.17%	▲0.45%	▲7.62%
NYダウ	33,926.01	▲0.15%	2.38%	3.39%	▲3.38%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

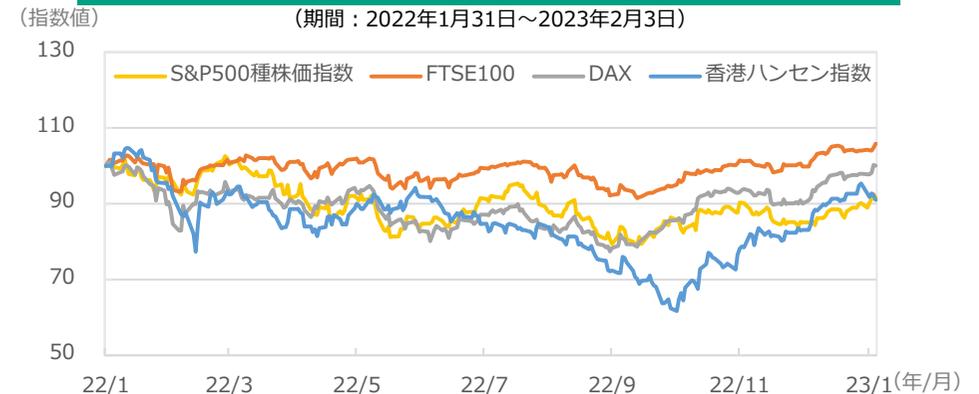
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202302_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成